

## 指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	山梨県立青い鳥福祉センター【青い鳥老人ホーム】					
指定管理者	社会福祉法人 山梨ライトハウス					
指定期間	平成18年4月1日～平成28年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	老人福祉法第11条第1項第1号の措置に係る者を入所させ養護するとともに、入所者の処遇に関する計画(処遇計画)に基づき、社会復帰の促進及び自立のために必要な指導及び訓練その他の援助を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目指す施設。					
指定管理者が行う業務	老人福祉法第20条の4の養護老人ホームに関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	・関係法令等に基づき、適正に管理を行っている。 ・施設の破損等を確認する点検を定期的を実施し、破損箇所は早急に修繕を行っている。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務が執行されている。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	・関係法令等に基づき、適正に運営を行っている。 ・処遇計画に基づき、入所者の自立に向けた指導、援助等を行っている。	・施設の運営については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務が執行されている。 ・処遇計画について、モニタリング(=サービスの適正や効果の評価)結果から課題分析(アセスメント)を行い計画を見直すよう指導。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	【短期入所(ショートステイ)事業】 適正に事業を実施している。利用促進に努めている。	事業目的に沿った事業が適正に実施されている。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 【調査項目】 管理業務(施設の設備) 運営業務(行事、食事、入浴、健康管理、ケア、金銭管理) 総合 【満足度】 非常に満足6%、満足35%、普通35%、やや不満6%、不満0%、わからない18% 満足度評価値=(6+35)/(6+35+6+0)=87%	健康への気遣いが嬉しい。 食事に満足している 外出の機会を増やしてほしい。 家族と会いたい。 安全第一で生活したい。				
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	入所者からの要望を実現するよう対応を検討し、改善できる点は早急に改善を行っている。	・満足度評価値は87%と非常に高いが、不満を感じている入所者からの要望については、施設の管理運営を改善する視点から必要性を検討する中で、早急に対応するよう指導。				
利用実績	利用者数(各月初日の利用者数の合計)	H18年度実績(人) 595	H19年度計画(人) 600 (定員50名×12月)	H19年度実績(人) 589	H20年度目標(人) 600 (定員50名×12月)	
	評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容			
		措置者(市町村)からの入所依頼を受け、被措置者の状況を確認する中で入所を決定している。	・措置者(市町村)からの入所依頼については、被措置者の状況を確認する中で入所決定が行われている。			
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	730,000	717,719	12,281	830,000
		指定管理料	155,270,000	154,956,625	313,375	157,670,000
		その他収入	10,002,000	9,928,205	73,795	8,050,000
		計	166,002,000	165,602,549	399,451	166,550,000
	支出	166,002,000	160,908,554	5,093,446	166,550,000	
差し引き(収入-支出)	0	4,693,995		0		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	適正な処遇を確保しながら、経費節減に努めている。	必要な修繕を行う中で、計画的な管理運営が行われている。				
施設の運営目標の達成状況	運営目標を達成するための処遇計画に基づく各入所者の自立に向けた指導、援助等が実施されているので、目標は達成した。					
総合的な評価及び改善事項	施設の維持管理業務、自主事業、利用者満足度調査への対応については、事業報告書や現地確認の結果、概ね適正に業務が執行されていると評価できる。 運営業務における処遇計画の作成については、入所者の状態を把握し、サービスの適正や効果の評価する中で、課題分析(アセスメント)を行い、計画を見直すよう改善すること。					

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	青い鳥福祉センター成人寮					
指定管理者	(福)山梨ライトハウス					
指定期間	平成18年4月1日～平成28年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	18歳以上の知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。その指標として、入所者は障害の程度異なることから、「入所者別の個別支援計画」の達成度を設定した。					
指定管理者が行う業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の維持管理業務</li> <li>利用者に対するサービス業務</li> <li>その他知事が必要と認める業務</li> </ul>					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	施設が老朽化しており維持管理が大変であったが、事業計画のとおり実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設が老朽化しているが、維持管理業務については適正に管理されていた。</li> <li>引き続き適正な維持管理をお願いしたい。</li> </ul>				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	事業計画に基づき適切な支援が実施された。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的に利用者に対する支援等の運営業務は、適正に実施されていた。</li> <li>引き続き利用者に対する適正な支援をお願いしたい。</li> </ul>				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	該当なし	該当なし				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 (5段階評価、数字が大きいほど評価高い) 維持管理業務 3 運営業務 行事 4 食事 2.5 入浴 3.5 健康管理 4 利用者ケア 5 金銭管理 3.5 総合評価(平均) 3.6 満足度評価値=3.6/5=72%	施設の老朽化による使い勝手の悪い声が多い。(階段や風呂が狭いなど)				
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事に対する不満が高いが、別途嗜好調査を実施しており、利用者のニーズに合った食事提供を検討していく。</li> <li>利用者に対する支援は個々に応じた対応をしており良い評価を得た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全般的に利用者の満足度は高く、適正に運営されていた。</li> <li>施設の老朽化により利用者の満足が得られない内容があるが、県が施設の再整備を実施しており改善が可能と思われる。</li> <li>食事については、満足度が低いようだが、利用者を交えた給食会議においてより良い給食提供について努力してほしい。</li> </ul>				
利用者数	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)		
	入所59.5人	入所60人	入所61人	入所60人		
利用実績	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	定員を満たす利用者が確保できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入所については、定員に見合う利用者を確保できていたことから、適正に運営されていた。</li> <li>引き続き定員を満たす利用者の確保に努力してほしい。</li> </ul>				
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H20年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	216,870,000	228,363,402	-11,493,402	216,870,000
		指定管理料				
		その他収入	9,165,500	9,312,214	-146,714	10,900,000
		計	226,035,500	237,675,616	-11,640,116	227,770,000
	支出	212,853,750	181,147,454	31,706,296	220,416,000	
差し引き(収入-支出)	13,181,750	56,528,162		7,354,000		
評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出を削減し効率的な運営をするとともに、施設報酬の増額を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収入面では計画に比べ施設報酬が伸びたことや、支出面では、コストを削減したことから、計画に比べ効率的な管理が行われており、適正に運営されていた。</li> <li>引き続き同様の運営ができるよう努力してほしい。</li> </ul>				
施設の運営目標の達成状況	個別支援計画について、定期的に検証し、利用者一人ひとりの支援に反映されていたことから、運営目標が達成された。					
総合的な評価及び改善事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化に伴う設備等の不具合について、その都度改善するなど適正に維持管理がされていた。</li> </ul> </li> <li>運営業務               <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者満足度調査から職員が利用者ニーズに応じたサービスを適正に提供していることが確認できた。</li> </ul> </li> <li>利用者満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な満足度は高いが、施設の老朽化により満足が得られていないことに関しては、今後、県が施設の再整備を実施し改善を図っていく。</li> </ul> </li> </ul>					